

報告書

1 調べたこと

・鉛
・カドミウム
・水銀 (総水銀、メチル水銀)
・PCB



藻川で獲れたウナギに含まれる化学物質の量を測定しました。

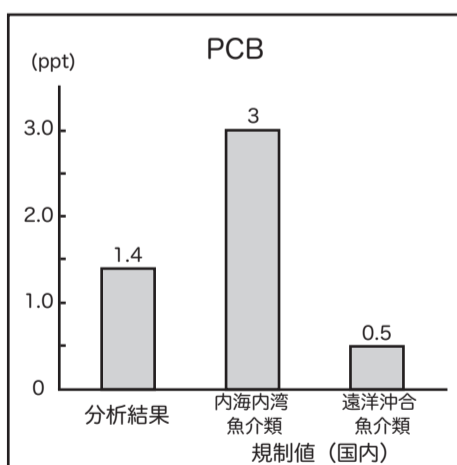
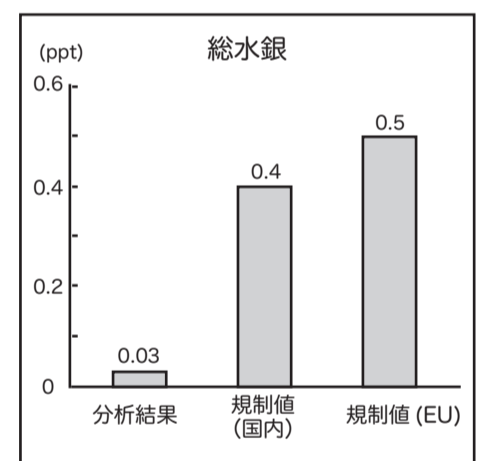
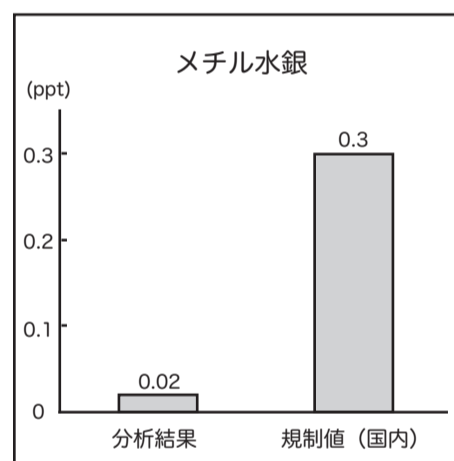
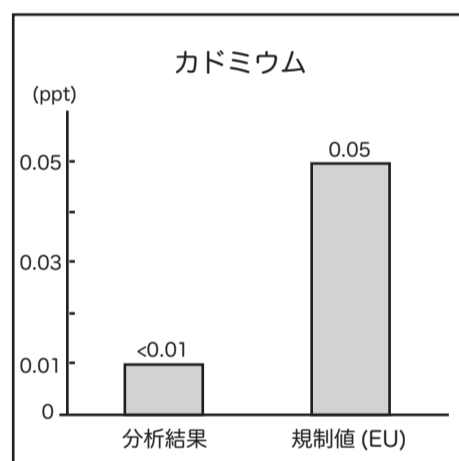
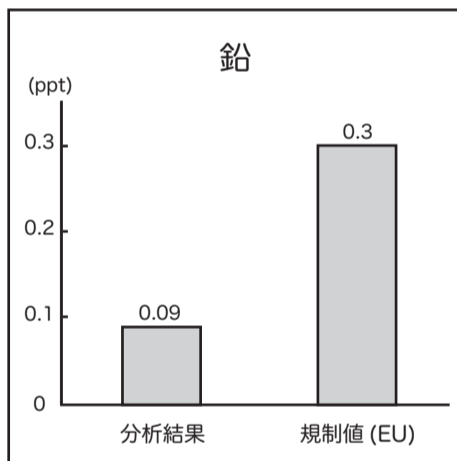
調べた化学物質は鉛、カドミウム、水銀2種類（総水銀、メチル水銀）、PCBです。この分析は、財団法人日本食品分析センターに依頼しました。

調べられた化学物質は、魚に対して規制値が定められているものです。日本の規制値と、世界で最も食品の安全基準が厳しいと言われるヨーロッパ連合（EU）の規制値を参考にしました。

▼規制値って何？

耐容一日摂取量や耐容一週間摂取量をもとに、日本人の魚の摂取量を考慮して求められた、魚に含まれる化学物質の上限の値。日本では、超過したら流通・販売しないよう自主的規制で措置が取られる。

2 結果



藻川で獲れたウナギには規制値を超える化学物質は含まれていませんでした。ただし、内臓は分析していません。また、今回分析していない化学物質についてはわかりません。

* 1 国内外の規制値は魚（複数ある場合はアユ）に対するものを示しました。ただし、国内の暫定的規制値 (S.48.7.23 厚生省環境衛生局通知) では、河川産の魚介類は適用対象外とされています。今回はデータを見る上での参考として載せています。

* 2 PCB には遠洋沖合魚介類に対する規制値と内海内湾（内水面を含む。）魚介類に対する規制値がありました。参考として遠洋沖合魚介類の規制値も示しましたが、今回は内海内湾（内水面を含む。）魚介類の規制値を採用し、規制値を超えていないとしています。

* 3 分析の試験依頼先：日本食品分析センター

試験成績書発行番号：第 09036998001-01

試験成績書発行年月日：2010年01月07日

3 連絡先

報告書の内容についてわからないことや、さらに詳しく知りたいことがありましたら、お気軽にお問い合わせください。

大阪大学コミュニケーションデザイン・センター（CSCD）

大阪大学サイエンスショップ

560-0043 大阪府豊中市待兼山町 1-16 大阪大学 教育実践センター自然科学棟 4F

コミュニケーションデザイン・センター

URL <http://handai.scienceshop.jp/>

mail: scienceshop@cscd.osaka-u.ac.jp